

シッキム州生物多様性保全・森林管理計画【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課
評価年月日 令和2年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インド
(2) 案件名	シッキム州生物多様性保全・森林管理計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	インド北東部シッキム州において、生物多様性保全活動、森林管理、エコツーリズム促進及び生計改善活動等を行うことにより、生物多様性保全、森林管理能力の強化及び地域住民の所得向上を図り、もって同地域の環境保全及び均衡の取れた社会経済発展に寄与するもの。 案件の内容 ・生物多様性保全・森林管理 ・地域開発・生計改善活動 ・森林局活動基盤整備・強化 ・コンサルティングサービス ア 閣議決定日：平成21年3月26日 イ 供与限度額：53.84億円 ウ 金利：0.55%（コンサルティングサービスは、0.01%） エ 償還（据置）期間：30（10）年 オ 調達条件：一般アンタイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 シッキム州は、生物多様性ホットスポットに位置づけられている東ヒマラヤ地域に位置しており生物多様性保全の観点から重要な地域である。しかし、森林周辺の農村部の貧困層が動植物や森林資源へ依存した生活を営んでいることにより、森林保護及び生物多様性保全への脅威となっている。このため、地域住民を巻き込んで森林生態系の維持・回復に係る取組を推進するとともに、地域住民に対して代替生計向上手段を提供することにより、森林資源の保全及び生物多様性の保全に貢献してきている。本事業は、事業の性質や規模（4,300Haの植林面積、540もの住民自助グループ（SHG）を想定）に鑑み当初より10年間に渡る支援を計画していたものであり、本事業に関する社会的ニーズは当初計画時から大きく変わっていない。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 本事業開始後に起きた地震、実施機関のキャパシティ不足の問題等により、一部の事業工程に遅れが生じたが、その後、事業は順調に進んでいる。2018年度には外部コンサルタントによる調査を実施し、これまでの事業成果を取りまとめ、今後円滑に事業を進めていくにあたっての課題の抽出を行った。2019年11月にはJICAインド事務所が現地を訪問し、進捗確認を行った。同訪問後、実施機関よりJICAインド事務所に対して、現地での協議結果を踏まえ、事業終了までの年間事業計画が提出された。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれている。事業進捗への懸念も解消済であることから、提出された年間事業計画及びサステナビリティ計画

	に基づき、確実な履行について実施機関への定期的な確認を続けるなど、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html) ・ 国際協力機構の案件検索 (https://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・ 国際協力機構の事業事前評価表 (https://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html) ・ そのほか国際協力機構から提出された資料